

令和 7 年 4 月 10 日  
中鉄観光株式会社  
安全統括責任者 石坂 政美

## 令和 6 年度 安全報告書

### 取組計画・運営状況

#### 運送の安全に関する基本方針

- (1) 安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同が安全確保の最善の努力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定を遵守し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。
- (3) 安全管理体制を適切に維持するために、安全対策を不断に見直し、確認を励行する。
- (4) 輸送の安全に関する情報については、積極的に公開する。

#### 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守する。
- (2) 事故防止に資する車両及び設備等は効率的かつ効果的に、事前に整備を行う。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予備措置を講じる。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達し、共有する。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施する。

#### 輸送の安全に関する目標

- (1) 今年度の人身事故 0 を目標とする。
- (2) バック事故 1 件以下を目標とする。
- (3) 側方確認不足事故 1 件以下を目標とする。
- (4) 有責事故件数 3 件以下を目標とする。

#### 輸送の安全に関する計画

- (1) 日々の厳正な点呼業務の実施
- (2) 防衛運転の指導取り組み  
道路交通法施行規則の順守は、基より旅客自動車運転手として防衛運転を教育指導していく。
- (3) クラウド型デジタル式運行管理システムのドライブレコーダーの運行画像を取り入れた乗務員教育の実施
- (4) 乗務員の労務管理の徹底  
労務管理システムを活用して、乗務員の労務管理をすることにより未然に過労勤務を未然に防ぐ。

#### 取り組みの評価・実施状況

監査対象期間;令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

- (1) 日々の点呼業務から安全がなにより最優先であることを教育指導していく。
- (2) 貸切バス無責事故3件発生しており、防衛運転の徹底を教育指導していく。
- (3) 乗務員研修により、実際運行分のヒヤリハット画像を上映して、良い点、悪い点の意見を出し合  
って、今後の安全運行改善の取り組みが必要であるか共有し確認をしていくことにより、安全に関  
する意識を高めていく。
- (4) 勤務表を作成にあたり、日々労務管理システムを活用して、乗務員の労務管理をすることにより未  
然に過労勤務を未然に防ぎ、そして健康管理をしていく。

#### 安全に関する乗務員研修及び乗務員社外研修実施状況

・乗員研修実施日

令和 6 年 6 月 17 日,9 月 24 日,12 月 18 日,12 月 25 日,令和 7 年 3 月 24 日

・乗務員社外研修実施日

令和 6 年 8 月 26 日～27 日,令和 7 年 3 月 6 日～7 日

#### 安全に関する事故防止委員会実施状況

・事故防止委員会実施日

令和 6 年 6 月 12 日,9 月 24 日,12 月 25 日,令和 7 年 3 月 24 日,4 月 10 日

#### 運輸安全マネジメントに関する講習訓練状況及び自己チェックリストの点検

・講習セミナー及び訓練日

令和 6 年 4 月 4 日(中鉄グループ 4 社整備管理者・運行管理者セミナー)

令和 6 年 5 月 22 日(ガイドラインセミナー)

令和 6 年 9 月 26 日(内部監査セミナー)

令和 6 年 12 月 18 日(中鉄グループ 4 社合同訓練)

三角灯設置・非常用信号用具使用訓練,消火器の使用訓練,非常扉開放方法の確認及び脱出訓練

・自己チェックリストの点検実施日

令和 7 年4月 10 日

#### 輸送の安全に関する目標に対する達成状況

監査対象期間;令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

- (1) 今年度の人身事故 0 を目標とする(令和 6 年度 0 件) 目標達成する。
- (2) バック事故 1 件以下を目標とする(令和 6 年度 0 件) 目標達成する。
- (3) 側方確認不足事故 1 件以下を目標とする(令和 6 年度 3 件) 目標未達の結果となる。
- (4) 有責事故件数 4 件以下を目標とする(令和 6 年度 4 件) 目標未達の結果となる。

## 運行結果を踏まえての評価・改善策・今後に向けた取り組み

令和 6 年度の貸切バス輸送に関する実績は、前期運送収入 168,040 税別(千円)、車当たり 90 税別(千円)、総走行キロ当り 584 円より今期 163,642 税別(千円)、車当たり 107 税別(千円)、総走行キロ当り 680 円、前期実働日車 1,862 台より今期 1,528 台(対前比 82%334 台減少)、前期稼働率 37.5%より今期 32.2%(5.3 ポイント減少) 特に、6 月 7 月 8 月 9 月の減少などここ数年、年間稼働率の低迷が続いています。(前々期年間走行キロ 286,839 km、前期 367,008 km)今期 310,048 km(対前比 84.5%56,960 km減少)となりました。

この様な実績を背景として事故発生件数は、6 件発生いたしました。車両別内訳は、乗合有責物損事故 2 件(8 月 2 月発生)、貸切バス有責物損事故 1 件(11 月発生)、デマンドタクシー有責事故 1 件(2 月発生)、デマンドタクシー無責物損事故 1 件(10 月発生)、貸切バス無責物損事故(12 月発生)となっています。事業別に有責無責物損事故 6 件においては貸切バス 2 件、デマンドタクシー 2 件、乗合バス 2 件となっています。有責物損事故においては貸切バス 1 件、デマンドタクシー 1 件、乗合バス 2 件の結果となりました。物損事故原因は、2024 年度安全目標の 1 つに掲げています「側方確認不足事故」によるものでした。総括として、特に貸切バス運行は「安全運行・防衛運転」ができていると評価しております。しかしながら、全ての安全目標の達成はできておりません。更なる安全運行する為に年間安全運行に関する取り組み計画より、事故防止対策委員会及び乗務員研修を実施していくことにより再発防止策を構築し取り組みしてまいります。そして令和 7 年 4 月 10 日安全確保の状況の点検の実施、今期の安全目標に対する結果、令和 7 年度の安全目標を掲げ全職員に周知して、輸送の安全の確保が最優先であることを徹底し、お客様の安全確保を第一に考え、安全輸送の意識を向上してまいります。